Creative Enzymes®

カスパーゼ-3

Cat. No. EXWM-4231

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カスパーゼ-3は、カスパーゼ-6 (EC 3.4.22.59) およびカスパーゼ-7 (EC 3.4.22.60) と同□に、エフェクター/実行カスパーゼです。これらのカスパーゼは、細胞のポリペプチドの大部分（例：ポリ(ADP-リボース)ポリメラーゼ (PARP)）のプロテオリシスを担当し、アポトーシス表現型を引き起こします。プロカスパーゼ-3は、カスパーゼ-1 (EC 3.4.22.36)、カスパーゼ-8 (EC 3.4.22.61)、カスパーゼ-9 (EC 3.4.22.62)、およびカスパーゼ-10 (EC 3.4.22.63) によって、またセリンプロテアーゼであるグランザイムBによって活性化されることがあります。カスパーゼ-3はプロカスパーゼ-2 (EC 3.4.22.55) を活性化することができます。活性化は、ドメイン間の切断によって行われ、その後N末端プロドメインが除去されます。Asp-Glu-(Val/Ile)-Aspが好ましい切断配列であると考えられていますが、酵素は基質のP2およびP3に異なる残基を受け入れることができます。カスパーゼ-2と同□に、カスパーゼ-3のP5に疎水性残基があると、より効率的な加水分解が促進されます。例えば、(Val/Leu)-Asp-Val-Ala-Asp┼は、Asp-Val-Ala-Asp┼よりも優れた基質です。これはカスパーゼ-7には当てはまりません。ペプチダーゼファミリーC14に属します。
別名	CPP32; アポペイン; ヤマプロテイン

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.22.56
CAS登□番号	169592-56-7
反□	P1およびP4の位置にアスパラギン酸（Asp）残基の□格な要件があります。好ましい切断配列はAsp-Xaa-Xaa-Asp┼であり、P2には疎水性アミノ酸残基、P3には親水性アミノ酸残基がありますが、この位置にはValまたはAlaも受け入れられます。
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期保存の場合は+4 ℃で保管してください。長期保存の場合は-20 ℃~-80 ℃で保管してください。